

実施年度	: 2024 (2025 入試) 年度
試験日	: 2025 年 2 月 24 日
入試種別	: 大学院 (博士後期課程) 入学試験問題
学部・研究科	: 文学研究科 仏教学専攻
科目名	: 第 2 群 ② 仏教漢文 (仏教学)

【解答又は解答例】

問 1 〔書き下し〕

唯だ如来・応・正等覚のみ有して、般涅槃を得たもう。一切の功德を成就するが故に。阿羅漢と辟支仏とは一切の功德を成就せず。涅槃を得ると言うは、是れ仏の方便なり。唯だ如来のみ有して般涅槃を得たもう。無量の功德を成就するが故に。阿羅漢と辟支仏とは有量の功德を成就するのみ。涅槃を得ると言うは、是れ仏の方便なり。唯だ如来のみ有して般涅槃を得たもう。不可思議の功德を成就するが故に。阿羅漢と辟支仏とは思議の功德を成就するのみ。涅槃を得ると言うは仏の方便なり。

〔和 訳〕

如来・応供・正等覚のみが (完全な涅槃を) 得ることができるのである。なぜならば一切の功德を成就しているからである。阿羅漢と辟支仏は一切の功德を成就していない。これは (この二乗が涅槃を得ると言うのは) 仏の方便であり、ただ如来のみが完全な涅槃を成就するのである。それは無量の功德を成就するのであって、阿羅漢と辟支仏は有量 (限定的な) 功德を成就するに過ぎない。(それでも) 涅槃を得ると言うのは、仏の方便なのであって、如来のみが完全な涅槃を成就しているのである。それは不可思議の功德を成就するのであって、阿羅漢と辟支仏は思議 (考えが及ぶ程度) の功德を成就するに過ぎない。(それでも) 涅槃を得ると言うのは、仏の方便なのである。

問 2 〔大意〕

仏が勝鬘夫人に対して、一切諸仏が説いた摂受正法 (真実の教えを受け入れ堅持すること) を説くように進め、これに対して勝鬘夫人が答える。摂受正法とは摩訶衍 (大乘) のことであり、それは一切の声聞・縁覚・世間・出世間の善法を生み出す母体である。つまり、一切の教法は大乘から発し、そして大乘に包摂されることを述べている。ここで言う大乘とは、大乘一乗の法であって、阿耨達池から八大河が流れ出るように、三乗の教えを包摂するように、すべての教えは一乗の真実の教えから流出

すると喩えている。また、阿羅漢と辟支仏（縁覚）は生死輪廻の因が残っているため恐怖しているとして、二乗が達する涅槃と如来の涅槃とでは大きな差異があることを、五つの観点から示している。そして、分段生死と変易生死の二種生死を示し、阿羅漢・辟支仏の二乗は分段生死のみを脱している不完全なものであると述べている。